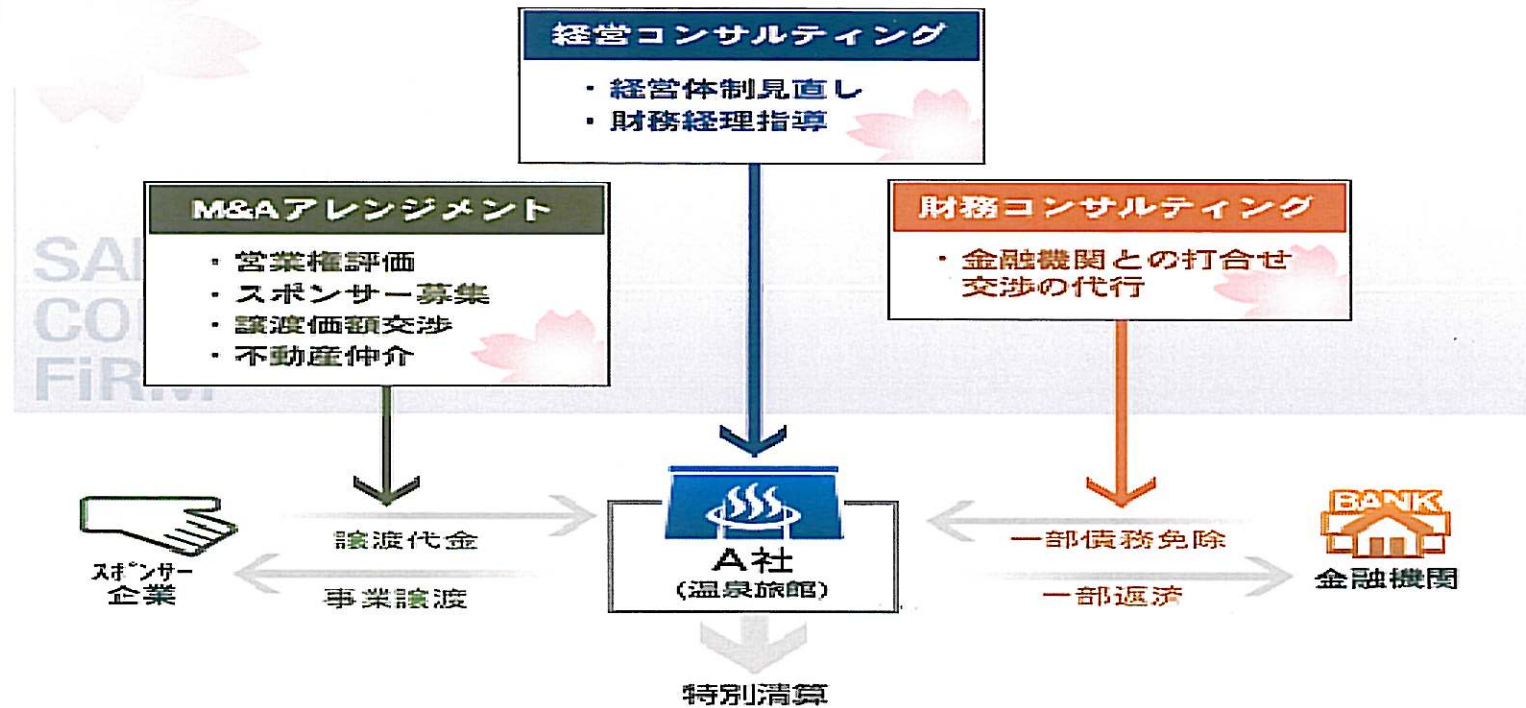


事業再生支援業務（スポンサーによる私的再建スキーム）



A社は、地方の温泉街に所在する温泉旅館である。過剰な設備投資であり、それに伴う過剰な借入が経営を圧迫していた。また、創業社長の死去と新社長による放漫経営により、経営が混乱していた。したがって、旅館の運営面での支援と債務圧縮が課題であった。

運営面での支援にあたり、経営体制の見直しを行い、経営の基本である財務・経理面での指導を実施。並行して、金融機関との折衝の中で自立再生は困難であることが明確になってきたことから、スポンサー募集のために営業権の評価、不動産デューデリジェンスを実施した。

スキームとしてオーナーについても社長は経営責任を取って辞任させるも、社長の長男及び娘婿を再雇用させ、事業譲渡契約に事業の将来的な買取条項を入れることにより、再び経営者に復帰する道を確認した。最終的にスポンサーへの譲渡価額と金融機関への一括返済額の折衝・アレンジメントを実施した。